

上町台地マイルドHOPEゾーン事業 まちづくり提案事業助成 事業報告書

1 申請団体・グループ名

應典院寺町倶楽部

共同事業者名（いる場合のみ記入してください）

--

2 事業のテーマ・タイトル

上町台地アートネットワーク構築プロジェクト

※応募時につけたテーマ・タイトルを記入してください。

3 事業の時期と実施内容等

時 期	実 施 内 容 等
7月	<p>○ヒアリング「HPF(ハイスクール・プレイ・フェスティバル)関係者」 概要：7月29日実施。HPFに関わった高校生、教員、ボランティアスタッフに上町台地におけるアートスペースへの関心を調査。結果、ネットワーク化し気軽にアクセスできるようになることに関しては、興味があると答えた回答がほとんどだった。ネットワーク化の必要性を感じるヒアリングであった。</p>
8月	<p>○シンポジウム「spaceXdrama2007 クロージングトーク」 概要：8月25日実施。spaceXdramaに参加した6劇団の代表者が、上町台地、広くは地域の「まちづくり」における演劇の可能性について語り合った。上町台地の空堀地区をモチーフにした作品作りをした劇団の代表者からの意見や、また、東京から参加した劇団からは、東京におけるアートネットワークの現状が語られ、演劇人の地域への関わりの方への言及がなされた。</p>
11月	<p>○関連企画「平田オリザ氏による生魂小学校での特別授業」 概要：11月21日実施。関連企画「若手演劇人のための基礎講座」からの運動企画として、應典院がコーディネートしたもので、上町台地の生魂小学校において、平田オリザ氏による演劇を通じての特別授業を実施。地域における学校の役割に着目し、小学生への演劇、アートへののりしろとなった。 ○フィールドワーク企画・運営「日本アートマネジメント学会・エクスカージョン」 概要：11月25日実施。日本アートマネジメント学会に運動させて行ったフィールドワーク。上町台地台地のアートスペースを実際、参加者とともに、自転車で巡り、その距離の近さと上町台地の資源の豊富さを参加者に実感して貰えた。また、アートマネジメント学会と運動することにより、専門家によるレクチャーも同時に行い、その意義と意味を深めることに成功した。加えて、各スペースの担当者にも話を聞くことにより、アートスペース側への意識づけにも成果が見れた。</p>
2月	<p>○成果公開シンポジウム「上町台地アートネットワーク会議」 概要：2月17日実施。アート関係者、若手演劇人を集め、今年一年の成果を発表。 成果：上町台地におけるアートネットワーク化の要望と必要性を確認。</p>

※実施した事業を月ごとに記入してください。

4 事業の効果・今後の展望

効 果	<p>未だ準備段階ではあるが、上町台地におけるアートネットワーク構築の必要性をその中核を担うであろう各アートスペースの担当者やアート関係者、また演劇人に理解いただけた事が、この事業最大の効果であろう。一方、関連企画である「平田オリザ氏による生魂小学校での特別授業」やフィールドワークにより、地域住民へのアートへの関心を意識づけられたことも効果として特筆すべきことである。</p>
今後の展望	<p>各アートスペースを実際に結ぶ活動に着手したい。地域プロデューサーを設置し、各アートスペースを横断する企画を立案、実施する。また、今年、当事業に理解をいただいたアート関係者や演劇人によるボランティア組織をつくり、事業を運営していきたいと考える。</p>

※「3 事業の時期と実施内容等」、「4 事業の効果・今後の展望」は、欄内に記入の上、これらを補足するようなパンフレット・チラシ・写真等があれば適宜添付してください。

平成 19 年 12 月 日

上町台地マイルドHOPEゾーン事業 まちづくり提案事業助成 事業報告書

1 申請団体・グループ名

空堀商店街界隈長屋再生プロジェクト(からほり倶楽部)

共同事業者名(いる場合のみ記入してください)

劇団 10×10×10

2 事業のテーマ・タイトル

空堀界隈を題材にした演劇制作とまちづくりのタイアップ・チャレンジ

※応募時につけたテーマ・タイトルを記入してください。

3 事業の時期と実施内容等

時 期	実 施 内 容 等
7月	<p>第1回打ち合わせ：17日(火) 事業の大枠、作業スケジュール、予算概算など詰める必要のある事項を確認。事業は「演劇マップ(ロケーション・マップ)づくり」と「ディレクターズ・ツアー」のほか、空堀を舞台にした芝居「きっかけはサザン」の「録画上映会」を実施することが決定。ツアーと上映会は10月末開催予定のからほりまちアートに合わせることにした。</p> <p>第2回打ち合わせ：23日(月) 前回打ち合わせ時の確認事項に関して、からほり倶楽部側と劇団側の案を持ち寄り、すりあわせを行う。また、「きっかけはサザン」の應典院での公演時(8月)に向けて、演劇マップの試作版を作成することにする。</p>
8月	<p>第3回打ち合わせ：6日(月) 事業計画案を確認する。演劇マップ試作版の素案をもとに細部を検討する。</p> <p>劇団 10×10×10 の公演鑑賞：18日(土) 應典院での公演をからほり倶楽部側が鑑賞する。演劇マップ試作版を配布し、空堀界隈への案内を行う。</p> <p>第4回打ち合わせ：20日(月) 演劇マップの本制作に向けて、公演時の観客の反応などを振り返り、改良案を検討する。</p>
9月	<p>第5回打ち合わせ：3日(月) ディレクターズ・ツアーのコース設定、集合場所、スタート時間などを詰める。 録画上映会の開催場所を見学する。</p> <p>からほりまちアート・アーティスト交流会：9日(日) タイアップ・チャレンジのPRを行う。</p> <p>第6回打ち合わせ：10日(月) ディレクターズ・ツアーと録画上映会のスケジュールなど最終調整を行う。演劇マップの改良案をもとに検討を行う。</p>
10月	<p>第7回打ち合わせ：1日(月) 演劇マップの最終原稿にもとづき細部のチェックを行う。ディレクターズ・ツアーと録画上映会での準備作業を確認する。</p> <p>第8回打ち合わせ：15日(月) ディレクターズ・ツアーと録画上映会の直前準備と当日の段取りを確認する。予算の支出状況を確認する。</p> <p>録画上映会前日設営：26日(金) 丸与ホールにて録画上映会の設営を行う。</p>

	<p>【事業実施】</p> <p>1. 演劇マップ(ロケーション・マップ)「空堀練り歩きマップ」 劇団 10×10×10 が空堀のまちを舞台に制作し、上演した演劇「きっかけはサザン」にもとづいて、芝居に出てくるシーンの現場や脚本執筆時などにインスピレーションを受けた場所などを記した演劇マップを作成した。 演劇マップは8月の演劇公演時に試作版を作成し、観客に配布するとともにその反応を見て、本印刷に供えた。 10月末のからほりまちアート時に開催した録画上映会やディレクターズ・ツアーの参加者全員に配布するとともに、からほりまちアートの参加者にも広く配布した。</p> <p>2. 録画上映会「空堀のまちが舞台になった……劇団 10×10×10『きっかけはサザン』上映会」 演劇マップのもとにもなった劇団 10×10×10 の演劇「きっかけはサザン」の録画上映会をからほりまちアートの両日に実施した。 8月のシアトリカル應典院での公演時に芝居を撮影し、そのDVDを用いて上映会を行った。 上映会は商店街内の丸与ホール2階(防音施工済み)を借り、両日とも11:30、13:00、14:00の3回開催した。参加者は計41名。</p> <p>3. ディレクターズ・ツアー「10×10×10と巡る空堀ディレクターズ・ツアー」 演劇マップを用いて、演劇「きっかけはサザン」の舞台となった場所などを演劇制作者の案内で巡るツアーをからほりまちアートの両日に実施した。 集合・出発場所は空堀桃谷公園南口とし、上町中学校⇒谷町筋⇒商店街⇒空堀桃園公園⇒萌・直木三十五記念館⇒御祓い筋⇒練⇒高津原橋というコースを設定した。 スタート時間は両日とも14:30と16:00の2回ずつで、参加者は計21名となった。</p>
11月	
12月	事業報告書のとりまとめ
1月	
2月	

※実施した事業を月ごとに記入してください。

4 事業の効果・今後の展望

効果	<p>【個別事業効果】</p> <p>1. 演劇マップ(ロケーション・マップ)「空堀練り歩きマップ」 からほり倶楽部ではこれまで「からほり絵図」と題したまち歩きマップを数次にわたり作成してきたが、これまでのマップづくりの視点とは違う視点を得たため、「からほり絵図」の新しい可能性を見出すことが出来た。 また、ともすればマンネリ化しがちなマップの改訂作業も、他者との連携・協力によって新鮮味が増したり、新しい発想を得ることが出来た。</p> <p>2. 録画上映会「空堀のまちが舞台になった……劇団 10×10×10『きっかけはサザン』上映会」 収容人数が12、3名という上映場所のキャパシティと、少々わかりづらいところがあったため、参加者は41名となったが、参加者の反応は良好であった。 映写というかたちにはなったが、からほりまちアートに演劇や映像がより参画しやすくなるための前例をつくることができた。</p> <p>3. ディレクターズ・ツアー「10×10×10と巡る空堀ディレクターズ・ツアー」 初日(27日)の天候が悪くなかったため、参加者数は少なかったが2日目(28日)は好天に恵まれ、参加者も増えた。 演劇制作者、脚本家という視点から切り取ったまちは、これまでのまちづく</p>
----	---

	<p>りやアートといった視点とはまた違ったまちの姿を知るキッカケになった。</p> <p>【全体効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ▲ 空堀界隈の新たな魅力とまちへの視点の獲得 演劇の世界からまちを切り取ってもらい、それを芝居だけでなく、マップやまち歩きという形で分かりやすくすることにより、企画当初から期待されていた空堀界隈への新たな魅力とまちへの視点を獲得することが出来た。特にスポットが当たった路地より細い抜け道や廃校となった小学校などは、これまであまり注目されなかった要素であった。 ▲ 「からほり絵図」への新風の吹き込み これまでほぼ毎年作成してきたまちの紹介マップ「からほり絵図」に対し、演劇とのコラボレーションによって、マップの未知の力を見ることが出来た。また、マップ作成がルーティン化、マンネリ化しがちな時期に、新鮮な発想や切り口と出会い、来年以降の取り組みが活性化できそうである。 ▲ からほりまちアートへの演劇・映像参画の可能性拡大 これまで展示が中心であったからほりまちアートに、演劇や映像アートが参画する可能性を広げることが出来た。
<p>今後の 展 望</p>	<ul style="list-style-type: none"> ▲ 直木三十五記念館とのタイアップにより、直木三十五にスポットを当てた演劇の創作を模索する。 ▲ 「きっかけはサザン」の録画上映を直木三十五記念館のイベントでも実施するなど、マップ以外のツールの活用も図っていく。 ▲ 今回の取り組みを広くアピールすることでさまざまな分野の人たちが、空堀界隈に関心を持てるよう努める。

※「3 事業の時期と実施内容等」、「4 事業の効果・今後の展望」は、欄内に記入の上、これらを補足するようなパンフレット・チラシ・写真等があれば適宜添付してください。

平成 20 年 3 月 3 日

上町台地マイルドHOPEゾーン事業 まちづくり提案事業助成 事業報告書

1 申請団体・グループ名

高津高等学校 地歴部

共同事業者名（いる場合のみ記入してください）

2 事業のテーマ・タイトル

上町台地で学ぶ生徒のためのDVD地域教材「私たちの上町台地」

※応募時につけたテーマ・タイトルを記入してください。

3 事業の時期と実施内容等

時 期	実 施 内 容 等
8月	ナレーション原稿作成
9月	ナレーション原稿作成、撮影作業
10月	ナレーション原稿作成、撮影作業、映像入手（ピース大阪）
11月	ナレーション原稿作成、撮影作業、映像入手（大阪歴博）
12月	ナレーション原稿作成、撮影作業、映像入手（大阪城天守閣）
1月	ナレーション原稿作成、撮影作業、映像入手（環境情報センター）
2月	編集作業、DVD作成

※実施した事業を月ごとに記入してください。

4 事業の効果・今後の展望

効 果	上町台地の理解、啓発
-----	------------

今後の
展 望

配付した学校で地域教材として利用して頂ければ、大きな成果が出る
と思われる。

※「3 事業の時期と実施内容等」、「4 事業の効果・今後の展望」は、欄内に記入の上、これら
を補足するようなパンフレット・チラシ・写真等があれば適宜添付してください。

上町台地マイルドHOPEゾーン事業 まちづくり提案事業助成 事業報告書

1 申請団体・グループ名

上町台地からまちを考える会

共同事業者名（いる場合のみ記入してください）

2 事業のテーマ・タイトル

「上町台地 web 百科事典」協創プロジェクト

※応募時につけたテーマ・タイトルを記入してください。

3 事業の時期と実施内容等

時 期	実 施 内 容 等
8 月	7日 uemachi.cotocoto 編集会議開始 21日 上町台地 100 人のチカラ!(46) <玉造でのゲストハウス>
9 月	4日 上町台地 100 人のチカラ!(47) <なにわ伝統野菜等> 12日 「ミニ上町台地.cotocoto」β版運用開始 18日 上町台地 100 人のチカラ!(48)開催<真田山地域の歴史>
10 月	2日 上町台地 100 人のチカラ!(49) <桃谷地域の町内会活動>
11 月	30日 まちづくりワークショップ「つながりを紡ぐ」開催 (ゲスト:平田オリザ/劇作家・演出家:於:OCG 多目的ホール)
12 月	4日 上町台地 100 人のチカラ!(51) <からほりまちアート> 19日 大阪ガス(株)CEL「減災 cafe in 上町台地」開催協力 25日 上町台地 100 人のチカラ!(52) <西成を拠点にしたアート活動>
1 月	15日 上町台地 100 人のチカラ!(53) <猿田彦から見た地域信仰>
2 月	1日 フライヤー作成のための打合せ開始 <チャーハン・ラモーン氏> 5日 上町台地 100 人のチカラ!(54) <自転車マップによるまちづくり> 19日 上町台地 100 人のチカラ!(55) <天王寺区役所職員の地域づくり>

※実施した事業を月ごとに記入してください。

4 事業の効果・今後の展望

効 果	上町台地界隈の魅力が人々にどう捉えられているかを明らかにすべく、トークサロンによる情報収集等を行ってきた。のべ 154 名の参加を通じて紡いできた。また、平田オリザ氏のワークショップは、助成を得たことによって無料にて開催することができ、多方面からの参加が得られた。
今後の展望	既に当会ならびに当該活動には多方面からの関心を得てきているが、活動報告会の指摘のように、活動の発展のために更なる協力者の組織が必要である。今年度作成したチラシ等を効果的に用いて、この点に対処したい。また、平成 18 年度より運用にあたってきた「上町台地.cotocoto」に、今年度の活動から、特に人的資源について丁寧にとめていきたい。

※「3 事業の時期と実施内容等」、「4 事業の効果・今後の展望」は、欄内に記入の上、これらを補足するようなパンフレット・チラシ・写真等があれば適宜添付してください。

平成 20 年 3 月 3 日

上町台地マイルドHOPEゾーン事業 まちづくり提案事業助成 事業報告書

1 申請団体・グループ名

上町台地歴史資産力研究会	南北平野町プロジェクト
--------------	-------------

2 事業のテーマ・タイトル

大坂城下のルーツ「南北平野町」の研究と顕彰—上町台地の歴史資産力

※応募時につけたテーマ・タイトルを記入してください。

3 事業の時期と実施内容等

時 期	実 施 内 容 等
9月	絵図について研究会 研究会メンバーでフィールドワーク 地図作成
10月	ヒアリング調査
11月	ヒアリング調査 ・現地町屋の間取り調査 図面作成
12月	ヒアリング調査
1月	現地調査続行、講演会用資料とチラシの作成
2月	同上・及び現地での宣伝
3月	3月1日講演会開催

※実施した事業を月ごとに記入してください。

4 事業の効果・今後の展望

効 果	<p>上汐の歴史についてと、調査した結果わかった現状を、上汐周辺住人の方に伝えることができました。自分が住む町に埋もれている歴史の活用について考えるきっかけを作ることができたと思います。</p> <p>ヒアリング調査を重ねたことで、歴史関係者だけでなく、上汐の住人が講演会に参加してくれたことが大きな効果と考えています。</p>
今後の展望	<p>今後春から夏にかけての調査で、伝統行事について、古い住宅についてのヒアリングや現地調査を行うことで住人とのネットワークをさらに広げることができると考えています。</p> <p>また、今回の調査で空白だった部分（南平野町・上汐6丁目付近）の歴史についても、資料や意見交換から進展が見込めます。</p> <p>まずは、調査結果と講演会の様子などの記録を文書にまとめることを予定しています。</p>

平成 20 年 3 月 1 日

上町台地マイルドHOPEゾーン事業 まちづくり提案事業助成 事業報告書

1 申請団体・グループ名

直木三十五記念館

共同事業者名（いる場合のみ記入してください）

からほり倶楽部 空堀ことば塾 オダサク倶楽部 西代官山クラブ

2 事業のテーマ・タイトル

連続文化講座「可能性のまち上町台地」の開催

※応募時につけたテーマ・タイトルを記入してください。

3 事業の時期と実施内容等

時 期	実 施 内 容 等
8月	企画の詳細の決定と広報用チラシの制作
9月	連続講座その1 上方歌舞伎をめぐる中寺町界隈のまち歩きを開催 講師 河内厚郎
10月	連続講座その2 「学びの場としての上町台地の可能性」ダイアログと講演会 ダイアログ 塙 狼星 × 小辻昌平 講演会 玄月 連続講座その3 トークバトル「可能性の文学」 井村身恒 × 小辻昌平
11月	連続講座その4 ティーチイン「観光としての上町台地文学めぐりの可能性」 小田切聡 + 小辻昌平 連続講座その5 落語の舞台となった空堀～上町台地を巡るまち歩き 案内人 小辻昌平
12月	連続講座+ 「うたがまちに空堀に」 大塚まさじライブ 公開事業報告会の開催
1月	成課報告書としての会報の編集会議
2月	会報の発行と関係各位への配布

※実施した事業を月ごとに記入してください。

4 事業の効果・今後の展望

効果	<p>上町台地をいくつかの文化的な切り口で考察した本講座を通して、新たな上町台地の魅力を微力ながら紹介することができたと感じる。</p> <p>講座に参加された参加者の方々のみならず、主催した我々にも新たな可能性を感じる講座となり、今後の記念館の果たすべき機能のひとつとして想定されている、文化情報の発信基地としての役割の重要性をさらに明確に示すことができた。</p>
今後の展望	<p>本講座の中でも議論された「着地型」という方向性、つまりはそこに行けば何かを体験できる、知ることができるという機能を充実させることの重要性と、「参加型」というものを具体化するための方策を今後は実現していきたい。</p> <p>具体的には、記念館とその周辺の文学的資産を紹介できるボランティアガイドの育成、直木作品や直木賞作品の読書会の開催などを計画していく。</p>

※「3 事業の時期と実施内容等」、「4 事業の効果・今後の展望」は、欄内に記入の上、これらを補足するようなパンフレット・チラシ・写真等があれば適宜添付してください。

平成 20 年 3 月 3 日

上町台地マイルドHOPEゾーン事業 まちづくり提案事業助成 事業報告書

1 申請団体・グループ名

ちんどん通信社 (有限会社 東西屋)

共同事業者名 (いる場合のみ記入してください)

2 事業のテーマ・タイトル

中学生のための空堀ガイドブック制作

※応募時につけたテーマ・タイトルを記入してください。

3 事業の時期と実施内容等

時 期	実 施 内 容 等
8月	編集作業
9月	編集作業
10月	編集作業
11月	編集作業
12月	編集作業
1月	編集作業
2月	編集作業～入稿

※実施した事業を月ごとに記入してください。

4 事業の効果・今後の展望

効 果	数多ある、上町のガイドブックや案内パンフレットとは一線を画する中学生のためのガイドブックになる。
今後の展望	印刷されたガイドブックは、今後、本年4月後半より(予定)始まる「ちんどん体験学習」に、当社の本拠地である上町界隈を訪れる、全国の修学旅行生へ配布され、大いに、上町周辺への関心度が高まるように期待する。

※「3 事業の時期と実施内容等」、「4 事業の効果・今後の展望」は、欄内に記入の上、これらを補足するようなパンフレット・チラシ・写真等があれば適宜添付してください。

平成 20 年 3 月 3 日

上町台地マイルドHOPEゾーン事業 まちづくり提案事業助成 事業報告書

1 申請団体・グループ名

日本学生支援機構大阪日本語教育センター「歌と踊りのフェスティバル」実行委員会

共同事業者名（いる場合のみ記入してください）

2 事業のテーマ・タイトル

上町台地に集おう！留学生歌と踊りのフェスティバル

※応募時につけたテーマ・タイトルを記入してください。

3 事業の時期と実施内容等

時 期	実 施 内 容 等
8月	準備（実施内容の詳細、プログラム等の討議・決定）
9月	準備（各種団体などに協賛の依頼）
10月	準備（ポスター・チラシ等作成）
11月	準備（出場留学生グループ募集、審査員依頼）
12月	準備（出場者予選・決定、会場準備）
1月	1/19 本事業実施 後処理（協賛団体等に礼状送付、事業精算）
2月	後処理（事業精算、報告書作成、関係者・協賛者・団体に報告書送付）

※実施した事業を月ごとに記入してください。

4 事業の効果・今後の展望

効 果	上町台地にも外国人留学生が多く住み勉学に励んでいることを広く一般の方に知ってもらうことができ、また留学生の母国の歌や踊りを間近で見させていただいたことで外国に対する理解を深めるきっかけとさせていただけたと思う。外国人居住者等を含めた今後の地域交流の発展に寄与するものと思われる。
今後の展望	アンケートではほぼ100%の方からよかったという評価を得ることができ概ね今回の事業は成功であったと思われる。また今後の継続的な開催を期待する声も多く聞かれた。来年度以降も、形を変えることも案を含め、外国人留学生に対する皆さんの理解をより深めることのできるイベントを考え、実施できればと考える。

※「3 事業の時期と実施内容等」、「4 事業の効果・今後の展望」は、欄内に記入の上、これらを補足するようなパンフレット・チラシ・写真等があれば適宜添付してください。